

2011 - 12 年度 RI テーマ



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

Rotary International
国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

温故創新

ロータリーの原点を
見つめて

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY
●創 立：1973年2月23日
●会 長：鈴木 洋
●幹 事：大松 桂右
●会報委員長：桑田 タア子

今週のプログラム

第1883回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「クラブソング」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 新入会員入会式
 さかはら もりや 坂原 守哉 新会員
 たるい しんや 垂井 信哉 新会員
- ⑤ 会務報告
 「会長の時間」「幹事報告」
- ⑥ 委員会報告
 「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑦ 卓話
 「血液事業の現状と救護活動について」
 大阪府赤十字血液センター
 献血部長 小川 敏彦氏
 渉外課 献血推進担当 主事 佐野 仁美様
- ⑧ 閉会 点鐘

来週の予定

2011年最終例会

第1884回例会(年次総会) 12月16日(金)

☆例会 12:30~13:30

(年次総会 13:00~13:30)

★会員懇親会及び新入会員歓迎会 14:30~

於：がんこ平野郷屋敷

前週の例会記録

2011年12月2日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第1882回	23名	13名	65.0%	出席義務免除 4名(出1)
第1880回	23名	17名	81.0%	補 填 0名

ニコニコ箱

- ①許君、ようこそ。
- ②松本さん、卓話ご苦労様です。 鈴木 洋会員
 下手な卓話ですがよろしくお願い致します。
 松本 智幸会員
- 松本会員、卓話よろしくお願ひします。
 石川 義一会員
- 松本さんの卓話楽しみです。 池本 繁喜会員
- 次男が体操選手育成コースに進みました。
 松本さん、卓話楽しみにしています。
 山田 哲男会員
- 松本智幸会員、卓話「カaramel」の話楽しみにして
 しております。
 森下 慶治会員
- 今年も残り少なく、カレンダーも1枚になりました。
 師走の時期、何かと忙しいですが、健康に留
 意して乗り切り、新しい年を迎えましょう。
 松本さんの卓話、楽しみです。 奥田 長二会員
- 松本さん、「カルメラの話」楽しみです。
 桑田 タア子会員

📊 今回合計 17,000 円

📊 累計 500,000 円



12月誕生月祝
石川会員

会長の時間

先週

儲けは信頼から生まれる（職業奉仕）

東京・神田のれん街に「しのだ寿司」という老舗があるそうです。原田さんという方がその社長で、大変な苦勞人です。ある時次のような話をしてくれました。『誰でも物を買うときに、「この店を儲けさせてやろう」と思って買ったことはないでしょう。そんなら「安く買ってやろう」と思うのは当たり前でしょう。この店に来てくださるお客様も、神田のしのだ寿司は感心だから、「一つ儲けさせてやろう」なんて云うお客さんがあるだろうか？まずあるまい。にもかかわらず、私の店が左前になって困ったことは無い。意地の悪い目で見れば、儲けさせたくない気持ちの中から儲かっているもの、この儲けというものは一体何なのだろうか？儲かったものを、「自分のものだ」と思った瞬間、そこから商人としての道が崩れるときなのだ』というのです。

原田さんは、自分の店に入社してきた若い人を研修生と呼んでいます。店のものの教育をどのようにやるのか？と尋ねるとこんな返答が跳ね返ってきます。『いつて聞かせる教育では駄目ですね。例えば、五千円の寿司を、どこどこの場所へ、バスが待っているから何時までに持って来い、こういう注文があります。しかし何かの手違いで、持って言ったときには時間が遅くなって、客はカンカンに怒って出発してしまった後なのです。届けに走ったものが「どうしましょう」といつて帰ってくるのです。「どうしようじゃない。引き受けた以上は責任があるんだ。乗用車でスピードを出してバスを追いかけなさい」というようなことになる

んです。若い者は「社長はバカだよ、そんなことをしたら、儲けにもなんにもならんじゃないですか」「あのなあ、責任というものはお金にはかえられないんだよ」と走ってもらうのです。「とうとう箱根で追いつきました」といつて帰ってきての報告に、「よく届けてくれたな、お前の店は信頼できる。また頼むよ」とお客にほめられました、というわけです。』

今週

- ・職場体験学習（矢鍋 遼君）を終えて

幹事報告

◎GSE受入れのお礼について

- ・大阪フレンドRCよりお礼文のFAXがある

◎タイ国の浸水被害の支援金について

- ・64,000円が集まり送金をする

◎新入会員の入会式について

- ・次週の例会時に2名の新入会員の入会式を行う

◎12月度定例理事会について

- ・例会終了後、13:45より開催

卓話

「カラメルの話」

松本 智幸会員



食品の化粧にはいろんな色素が使われていますが、その中で天然の茶色の褐色を求める事でカラメルが使われています。特に戦後、良質の醤油が作りにくい時代、アミノ酸醤油と申し、大豆に塩酸を加え、過熱と加圧によって分解し、旨味調味料としたものです。本物の醤油に見せる為、多量のカラメルを必要としました。カラメルは液体の中では安定して溶けていなければ商品にならな

いのですが、不用意に作られた物はおりとなり、混濁するのです。醤油の他に佃煮にも多く使われていました。赤茶けた昆布を良質な昆布に見せる為、カラメルで着色してぴかぴかに光る様にするのです。カラメルは常に赤身の強い物を要求され、お前の処はいつも黒いからダメだなんて言われます。見た目は皆黒いのですが、使用感で赤いとか黒いとか又は伸びが悪い。伸びとは色の力で、例えば一釜で1キログラムのところ、1.5キロ使わねばならぬので高く付く、金額では大した事はないのですが、それが大ごとのように言われます。

さて、カラメルの作り方の話ですが、少々昔になります。私が入社した頃の話で昭和23年、芋カラメルと申しまして、さつま芋を原料にしました。このさつま芋は畑一反で500貫程取れるのです。農家の人達が毎日俵を荷車に載せて来ていました。量も多く、周辺の道端には芋俵の山が並んでいました。又、福山港に舟で持ち込む事もあり、工場まで荷馬車が連なり、私の仕事はその数を数えるのですが、今行ったのを数えたかなと思うこともあり、不確かな仕事をぬけぬけと報告していました。最終的にはどのように清算されたのか知る由もありません。工場の中には2トン釜くらいのタンクが並んで、その中に放り込んで一晩中蒸気で炊いたと思われれます。その後、大桶に出されモロミと称し、液体を分離する為に1日、又は2日程寝かします。垂れた液体を焼釜と云う直径60センチくらいの釜に送り、そこで真っ黒になるまで焦がします。又、この加減が難しいのですが、原始的で酌にくつつく糸の引き具合で決めます。

ここでカラメルの命と云われる色力等が決まり、タイミングが遅れるとゲル化と申しまして、溶けなかったり、又、四斗樽の中でごちごちに固まり、出なくなります。四斗樽というのは、製品を詰める容器です。

ここまで申しますと大変原始的な事がお判りと

と思いますが、今から思えば芋をすり潰し、澱粉を取り出し、酵素を使い、分解すればグルコースができ、これを大きなタンクでアンモニア等の触媒を入れて作れば20トンでも30トンでも大量生産が出来たのです。

12 月度定例理事会報告

幹事：大松 桂右

●日 時：2011年10月7日(金)

例会後 13:45~15:40

●場 所：例会場

●出席者：理事6名

① 会計報告(11月分)の件

・承認

② 年次総会における選挙管理委員(2名)・立会人(2名)選出の件

- ・選挙管理委員として奥田会員、八木会員を選出することで決定
- ・立会人として松本(浩)会員、高橋会員を選出することで決定

③ 新入会員(3名)の所属委員会の件

- ・クラブ運営委員会に所属することで決定。なお、例会運営当番について石川会員のグループに高岡会員、桑田会員のグループに坂原会員、森下会員のグループに垂井会員とすることで決定

④ 新入会員「私の履歴書」の卓話の件

- ・高原会員、坂原会員については1/20(15分ずつ)、垂井会員については1/27にて決定。なお、1/27に卓話予定者となっていた山田会員については3/16に変更することで決定

⑤ 次年度地区委員推薦の件

- ・引き続き、品川会員を推薦することで決定

⑥ クラブ研修委員長の件

- ・会員研修・情報委員会委員長として池本会員を選出することで決定

- ⑦ 4/13 (金) RCDM訪問の件
 - ・4/12~4/15の日程にて鈴木会員、松本(浩)会員、桑田会員、石川会員が訪問することで決定(メンバーについては都合による変更あり)。なお、4/13の例会の会長代行として直前会長の森下会員とすることで決定
- ⑧ 4/6 (金) お花見例会の件
 - ・KKRホテル大阪にて(12:00~15:00)開催することで決定。当日は12:30~13:30に通常通りの例会(卓話あり)を行う。13:30~15:00に句会(全員参加)等を行う予定(その他の催しについても検討)であり、詳細等については今後、引き続き検討を行う
- ⑨ 石巻4クラブとの合同震災復興事業の件
 - ・これまで石巻4クラブと調整を進めてきた中で40周年記念事業との関連性がでてきたため、近日中に40周年記念事業実行委員会を開催していただき、協議していただくことで決定。また、本年度の震災復興支援の予算としての40万円を40周年記念事業に流用することで決定
- ⑩ 事務局員の冬季謝礼の件
 - ・例年通りとすることで決定
- ⑪ 事務局員の12/12(月)の休暇の件
 - ・承認
- ⑫ 事務局員の年末年始の休暇の件
 - ・12/27~1/4の期間にて承認

以上

大阪城東RC様より「東日本復興基金 No.42」

プロジェクト報告

八尾東ロータリークラブ 御中

師走の候、貴クラブ益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

この度は「東日本復興基金 No.42」のプロジェクト

にご協力頂きまして誠に有難う御座いました。ホームクラブは会員8名にて、11月16日(水)にプロジェクトの支援先である岩手県大槌中学校に訪問して参りました。

11月15日(火)の夕方、花巻に入り、翌朝からバスにて行動、まずは遠野RCにてメイクアップ致しました。

遠野市は後方支援活動で表彰されており、遠野RCも被災地への後方支援活動を行われているクラブであります。

その後、大槌町教育委員会を訪問し、教育委員会の鎌田課長ご案内のもと、大槌中学校を訪問いたしました。貴クラブと共に寄贈した家庭科室の備品である電子レンジ、木工室の備品類も確認致しました。その後、校長室へ招かれ小野校長先生、三浦教頭先生に目録をお渡しました。

又、面談中に生徒たちにより調理されたハンバーグが届けられ、全員で美味しく頂きました。

今回、実技教科である技術・家庭科に必要な備品類を寄贈することにより、学習環境が整い、生徒たちの学習意欲の向上に貢献出来た事を大変うれしく思いました。

又、改めて教育現場を視ることで、我々ロータリアンとしての「奉仕の理想」を再認識する事が出来ました。

今後共ホームクラブとのパートナーシップによる被災地復興支援へのご協力をお願い致します。会長、幹事、はじめ会員の皆様、この度は誠に有難う御座いました。

以上



大阪城東ロータリークラブ
 会 長 岡本 浩
 幹 事 岸本 和久
 職業奉仕理事 黒松 克行

